

吉野川市 議会だより

令和6年3月議会定例会

令和6年度予算について.....	2
審議結果一覧	3
委員会審査	4
DX 推進特別委員会視察報告....	7
代表質問	9
一般質問	11

石積みを彩る
シバザクラ



吉野川市公式キャラクター
ヨッピー・ピッピー



吉野川市市制20周年



議会HPは
こちらから確認！

高開の石積み（美郷）

本年度の税金の使い道が決まりました

〜令和6（2024）年度予算案を全て可決〜

令和6年2月26日に開催された本会議において市長から令和6年度の各予算案が提出されました。

予算案は各常任委員会に付託し、審査され、令和6年3月18日開催の本会議において全ての予算案が全会一致で可決されました。

（委員会での質疑の内容4〜6ページをご覧ください。）



※企業会計は収益的支出および資本的支出を基準に算出。

区 分		令和6（2024）年度	令和5（2023）年度
一	般 会 計	240億8,500万円	200億9,300万円
特 別 会 計	国民健康保険事業	45億4,891万2千円	46億1,394万7千円
	介護保険事業	58億6,804万9千円	57億4,400万2千円
	後期高齢者医療	7億7,248万5千円	7億3,426万7千円
企 業 会 計 [※]	水道事業	15億6,044万6千円	13億2,761万8千円
	下水道事業	23億9,616万7千円	22億5,268万8千円

※企業会計は収益的支出および資本的支出を基準に算出。

令和6年3月議会定例会 審議結果一覧

	議 案 名		結 果
報 告	報第1号	専決処分の報告について（和解及び損害賠償の額の決定について）	報 告
条 例	議第1号	吉野川市行政組織条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	議第2号	吉野川市職員定数条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	議第3号	吉野川市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	議第4号	吉野川市手数料条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	議第5号	吉野川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	議第6号	吉野川市人権の花咲くまちづくり条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	議第7号	吉野川市個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	議第8号	吉野川市会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	議第9号	吉野川市保育所条例を廃止する条例制定について	原案可決
	議第10号	吉野川市介護保険条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	議第11号	吉野川市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	議第12号	吉野川市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	議第13号	吉野川市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	議第14号	吉野川市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	議第15号	吉野川市多目的グラウンド条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	議第16号	吉野川市水道事業及び下水道事業の職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	議第17号	吉野川市上水道給水条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	議第31号	吉野川市税条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	発議第1号	吉野川市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	発議第2号	吉野川市議会議員政治倫理条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
予 算	議第18号	令和5年度吉野川市一般会計補正予算（第10号）について	原案可決
	議第19号	令和5年度吉野川市一般会計補正予算（第11号）について	原案可決
	議第20号	令和5年度吉野川市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について	原案可決
	議第21号	令和5年度吉野川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	原案可決
	議第22号	令和5年度吉野川市介護保険特別会計補正予算（第3号）について	原案可決
	議第23号	令和6年度吉野川市一般会計予算について	原案可決
	議第24号	令和6年度吉野川市国民健康保険特別会計予算について	原案可決
	議第25号	令和6年度吉野川市後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決
	議第26号	令和6年度吉野川市介護保険特別会計予算について	原案可決
	議第27号	令和6年度吉野川市水道事業会計予算について	原案可決
議第28号	令和6年度吉野川市下水道事業会計予算について	原案可決	
その他	議第29号	市道路線の認定について	原案可決
人 事	議第30号	監査委員の選任について	同 意
	議第32号	教育長の任命について	同 意

総務常任委員会

◇市長提出議案13件を審査

●令和6年度吉野川市一般会計予算について

問 20周年記念事業で、既往の事業以外に新たな提案があった場合は追加するのか。

答 現時点で計画している記念事業は、予算案に計上している23事業である。
特に追加は考えていないが、令和6年度1年間を通して記念事業を実施するので、ふさわしい事業があれば検討していきたい。

問 コミュニティ助成事業600万円についての内訳は。

答 本年度は3団体から要望があり内訳は、鴨島地区自治会連合会が五九郎踊りの浴衣に250万円、栗島自治会が神輿の製作に250万円、山田南部自治会が祭り用太鼓修繕費用に100万円となっている。

問 庁舎等改修工事の防水シートが2億円とのことだが、シートよりペンキを塗った方が安く長持ちするとの情報もある。どのように決まったのか。

答

庁舎の改修工事について、屋上防水工事だけでなく、庁舎付属棟と機械棟の外壁も含めている。

屋上の防水については、庁舎は塗膜防水、機械棟はシーリングと建物によって改修する。



吉野川市役所本館

問

答

常備消防費が、約3000万円減額となった要因は。

徳島中央広域連合が、令和5年度、6年度の2カ年で更新を行っている高機能消防指令センターおよび消防救急デジタ
ル無線等について、通信指令室関係の予算が減額したためである。

問

市民提案型まちづくり推進事業について、250万円の前算で何件を予定しているのか。また、昨年と同じ団体から申請があった場合は。

答

本事業は対象経費の3分の2補助で上限50万円としている。市民団体等が地域課題を解決するために企画実施する事業に対して交付するもので、50万円を5団体に交付する予定である。
新規事業に対して交付すること
を目的としており、同事業に継続して交付するものではない。

令和6年度は、行政が設定した課題に対して提案してもらった枠を新設し、これは対象経費の10分の10で上限50万円としている。

問

新ごみ処理施設の周辺整備事業としてバスケットボールのコート整備について5350万円計上しているが、追加予算が出てくる可能性はないのか。

答

現時点で見込まれる最大限の予算としているが、昨今物価高騰している状況であり、資材の高騰等による影響が生じる可能性がある。



文教厚生常任委員会

◇市長提出議案11件を審査

●吉野川市保育所条例を廃止する条例制定について

問

鴨島呉郷保育所の閉所後は、新たに法人が利用することのことだが、施設周辺の方には周知できているのか。

答

現在は4月から施設を利用する法人について広く周知できていないため、今後速やかに市ホームページなどを通して周知していきたい。



閉所後も活用される鴨島呉郷保育所

●令和6年度吉野川市一般会計予算について

問 鴨島東こども園と高越こども園の予算に第三者評価業務委託料が新たに加わっているが内容は。

答 法律等で、概ね5年に1回外部からの評価等において、子どもの視点に立った評価を行い、その結果の公表等を通じて教育保育の質向上を図らなければならぬとされている。

問 令和6年度に鴨島東こども園と高越こども園において、民間の評価機関による第三者評価を受ける費用である。

答 鴨島呉郷保育所が閉所となるが、令和6年度から入園する園児の受け皿は足りているのか。また、新たな入園児や継続児を含めて、待機児童は出ていないのか。

問 令和6年度からは、公立2園、私立6園の計8園となる。4月から在籍する入園児と継続児は、公立・私立合わせて946名となっており、待機児童を出すことなく進められている。

問 こども園のICT化予算の中に翻訳機の購入があるが、本年度、通園している外国籍の園児の人数は。また、翻訳機は何力国語に対応なのか。

答 令和5年度に、本市の公立・私立の認定こども園に通園されているのは13名で、令和3年度が6名、4年度が9名であることから、緩やかに増加傾向にあると考える。

問 令和8年度に0歳児から2歳児までの全ての年齢児の保育料と給食費無償化を行った場合、どの程度の歳出予算が必要なのか。

答 現在の試算では8340万7000円の事業規模になると試算している。

問 11月開催のちびっこプラザふれ愛フェスティバルに、市制20周年事業として180万円の補助金を計上しているが、現段階でどのような企画なのか。

答 この補助金は、ちびっこプラザふれ愛フェスティバル実行委員会に交付するため、若干の変更等の可能性もある。

問 現段階では例年の内容に加え、人気キャラクターショーやそのほかにも家族で乗車できるミニSSLなど、さまざまな企画で楽しんでもらう予定である。加えて、来ていただいた子どもたちに記念品として、県産材を使った木製製品の配布を予定している。

問 吉野川市多目的グラウンド条例の一部を改正する条例制定について

問 シャワー室の使用開始時期は。

答 使用開始は4月の早い段階で進めていきたい。

問 令和6年度吉野川市一般会計予算について

問 部活動指導員は、どの学校に何名配置するのか。

答 今後、各学校の担当者などと審議を重ね、どの学校に配置するか決めていきたい。



部活動の様子

問 ほたる川運動場管理委託料とグラウンド管理委託料の場所と内容は。

答 ほたる川運動場は山川町堤外、グラウンド管理委託料のグラウンドは山川町中須賀にあり、草刈りなどの管理を委託している。

問 球根皮むき機の購入について、給食に有機栽培のものが取り入れられない理由の一つに、大きさや形状がさまざまだからということがある。球根皮むき機は、大きさが揃っていないと使用できないのか。

答 球根皮むき機は、上から大量にじゃがいもや玉ねぎを入れる。サイズの大小が混ざっていた場合、必要以上に剥けてしまうことがあるため、同等サイズでなければ使用できない。

問 市芸術祭の増額理由についての詳細は。

答 総合美術展はオープンニングとして、クロッキー(速写画)の生ライブ配信のほか、1期目を特別展とし、県ゆかりの作家を中心に、彫刻・洋画・陶芸・ガラス工芸など各部門から招待作品を展示する。

芸能祭は、例年どおり本市で活動している団体から募集する。

拡大分で記念公演とし、歌手で彫刻家の秋川雅史氏を招いての公演を予定している。

茶会いけばな展は、記念菓子での茶会を開催し、特別華展として来場者で合作を展示する。

問 部活動地域移行コーディネーターについて、近年

子どもの減少により部活動を行うのも大変になっており、教員の働き方改革にも関わってくる。コーディネーターの役割と指導員の人は。

答 役割は、部活動の地域移行をスムーズに進めるため、各種スポーツ団体と連携し、各中学校の実情に応じたスポーツ環境の整備を図るため、活動場所の選定等を行っていただくことである。

県の委託事業であるため、県と連携し、適切な人材を探すことに努めていく。

問 小・中学校において、食育の授業は行っているのか。

答 栄養教諭が、小学1・3・5年生、中学1・2年生を対象に食育の授業を行っている。

産業建設常任委員会

◇市長提出議案7件を審査

●令和5年度吉野川市一般会計補正予算(第11号)について

問 中小企業等物価高騰対策事業の支援金の受付状況は。

答 支援金の受付状況は、3月7日現在で法人607件、個人359件の計966件で、交付決定額は7085万円となっている。

●令和6年度吉野川市一般会計予算について

問 イベント開催時は、事故が起きた時に備えて保険に加入するが、補償の内容は。

答 イベント保険は、実行委員会と露天商組合の双方で加入しており、どちらかが原因で事故等が起きた場合はそれぞれで対応することになっている。

補償内容については、実行委員会が1事故につき上限10億円、対人1名につき3億円、露天商組合が1事故、対人1名ともに上限2000万円となっている。

問 耐震シェルターの導入費用は。

答 耐震シェルターの大きさによって違いはあるが、

今までの平均工事費は200万円である。そのうち補助金は100万円の工事費に対して上限80万円、補助率5分の4で交付するものである。

問 ヨッピー・ピッピーを活用したグッズの内容は。

答 ストラップ、ポロシャツを製作し販売する。また、本市のイメージアップを図るため、

うちわやコースターをイベント等にて無料で配布する。

問 今後のサイクルツーリズム推進および地域おこし協力隊を活用する考えは。

答 早期の高越山自転車ヒルクライムレースの開催に向けて、令和6年度からサイクルツーリズムの推進に取り組み、今後も官民一体で推進し、サイクルストの誘致を図っていききたい。

地域おこし協力隊の活用については、今後も幅広い分野で隊員を募集する方針であり、受入体制の構築に向けて関係者、団体と連携し準備を進めたい。

問 商業地域活性化支援事業補助金およびYYターンの移住創業支援補助金の本年度の補助対象件数は。

答 商業地域活性化支援事業補助金は、鴨島駅前周辺で出店される方を対象としている。本年度の支援件数は製造業事務所、サービスマスの2件である。

YYターンの移住創業支援事業補助金は、本市へ移住、創業される方を対象としている。支援件数は、理容業の1件である。

●令和6年度吉野川市水道事業会計予算について

問 本市の水道管の総延長と法定耐用年数40年を超えている割合と管路更新率は。

答 令和4年度現在、本市が所有している水道管の総延長は、約476.7kmとなっている。そのうち法定耐用年数40年を経過した管路は、約128.6kmであり、割合の管路経年化率は27%となる。

人事案件

◇次の人事案件が提出され同意しました。

●監査委員

乾 郁夫 (鴨島町飯尾)

●教育長

木屋村雅信 (山川町町)

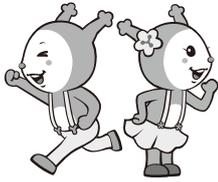
議員提出議案

●吉野川市議会委員会条例の改正

吉野川市行政組織条例の一部を改正する条例制定に伴い、総務常任委員会所管の名称のうち「防災局」を「危機管理局」に変更する改正を行いました。

●吉野川市議会議員政治倫理条例の改正

第3条第1項に「前項に定めるもののほか、議員は、吉野川市議会議員による職員に対するハラスメントに関する条例を遵守しなければならない。」という一文を加え、「吉野川市議会議員による職員に対するハラスメントに関する条例」との関係性を示しました。



委員会行政視察報告

DX推進特別委員会 【令和6年1月25日～26日】

大分県別府市

◆別府市議会におけるタブレット端末の導入について

令和元年6月に市がデジタル化の取り組みを加速するためにBEPPU×デジタルファースト宣言を行ったことを契機にタブレット端末導入検討委員会を立ち上げ、令和4年2月にタブレット端末およびペーパーレス会議システム「moreNOTE」を導入している。

研修の中で、導入により、コピー代、消耗品代、労働時間の削減等により、年間約210万円の経費が削減できたと説明があった。その他の効果として「作業効率向上等、数字で表すことのできない定性的な効果を積算することにより、タブレット端末等の導入による費用対効果を高めることができると考えた。このことで、職員、議員の負担を軽減させ、市民への対応時間を確保でき、間接的に市民サービスの向上につながると検討委員会で結論づけられた。」と説明があった。

機器等の選考方法についても他自治体への導入実績を条件とする要件設定型一般競争入札を採用し、商品の信用性を担保しながら導入費用を押さえる工夫も見られた。



愛媛県西予市

◆タブレット端末を活用した議会運営について

平成27年7月ICT導入検討委員会を設立し、平成28年9月にはタブレット端末およびペーパーレス会議システム「SideBooks」を導入している。

議案書などの資料はすべて電子化され、印刷製本費、郵送代、職員の作業負担軽減による人件費削減が実現されている。

令和4年11月には「SideBooks」を用いた電子採決の運用が開始され、議会のICT化が進められている。

研修の中で担当者から「議員間で機器を取り扱う技術の差が生じており、採決システムなどの利用においてスムーズでない場面があった。初心者から上級者の区分を設けた研修の提供が必要と感じる。」との説明があった。

また、議員、事務局職員間で情報共有やスケジュール管理を行うシステム「サイボウズOffice」を導入し、議会関係通知の送付、日程調整など、議員への連絡は原則、システムを通じて行われている。議員への連絡調整が簡略化されることで、より細やかな対応が可能になるとともに、事務局員の負担も大幅に軽減できている。



「こころ」が聞きたい

代表・一般質問

※誌面の都合により要旨のみを掲載しています。
詳しくは、市議会ホームページの会議録をご覧ください。
(二次元コードを読み取れば、会議録が確認できます。)



3月議会定例会では9名の議員が代表・一般質問を行いました。●の質問を中心に取り上げました。

代表質問

栗原 五 男 (吉野川政友会いろは)

- 令和6年度予算について
- 耐震について
- 学校給食について
- ふるさと納税について
- 防災対策について
- 指定管理について
- 地域おこし協力隊について

枝澤 幹 太 (薫風会)

- 市長公約について
- 20周年記念事業について
- 観光ビジョンについて
- 防災対策について
- 新ごみ処理施設整備事業について

一般質問

菊川 充 憲

- 防災減災対策について
- 学校給食の現状と課題について
- 高齢者の運転免許返納について

塩田 智子

- 産業振興について
- こども食堂運営費補助事業について
- ちびっこプラザの利用について

中西 涉

- 災害時の避難所運営について
- 鴨島阿波おどり開催について
- 保育料及び給食費の無償化について

阿佐 勝彦

- 『おもてなしの心』について
- 震災に備えた上水道事業について
- 飼い主のいない猫について

岸田 益雄

- 防災対策について
- 鴨島呉郷保育所について
- 市制20周年記念事業について
- 阿波吉野川警察署について

岡田 光男

- 災害対策について
- 住まいの耐震化と減災化について
- 汚水処理事業について
- ごみ処理について

近久 寛

- 持続可能な農業の確立に向けた取り組みについて
- 市民の健康増進について



吉野川政友会いろは
栗原 五男
くわはら いつお

問

令和6年度予算の主な内容は

答

子育て・教育の満足度向上など6本柱を継続し個別具体的施策に優先順位をつけて実施する

問

本市の厳しい財政状況や大きく変化する社会経済環境に対応しながら、行政サービスの向上を図るため、これまで4次にわたり、行財政改革大綱および実施計画を策定し、各種取り組みを進めてきた。

その中で、投資的経費や各種補助金をはじめ、事務事業の総点検を行ってきた結果、令和5年度当初予算編成後における財政見通しでは、行財政改革の取り組みと身の丈にあった財政運営の継続が前提ではあるが、当面の財政危機は突破できた。

答

令和6年度の予算は、限られた財源の中であつても、保有する基金を最大限有効活用することにより、本市の将来を見据えた上で、必要と考える事業を実施させていただくことにした。

令和7年8月の稼働に向けて

施設建設がピークを迎える新こみ処理施設整備事業に加え、子育て・教育の満足度向上、暮らし・福祉の満足度向上など、6本柱を継続し個別具体的施策に優先順位をつけて実施していく。

予算の特徴として、新こみ処理施設整備事業や庁舎屋上防水・外装改修事業などの投資的経費が約35億円増となった他、扶助費や物件費にも大幅な増加が見込まれることもあり、予算総額は前年度から39億9200万円増の240億8500万円となった。

予算規模は、合併後最大規模となったところだが、当面の財政危機を突破した今こそ、本市ならではの特色ある施策を展開して、市内外に魅力を発信していくことで、住んでみたい、住み続けたい「まち」として選択されるように思いを込めて編成

した。

【その他の質問】

問 家屋耐震状況と耐震シエルトター推進の考えは。

答 平成30年度住宅・土地統計調査を基準に、その後

の耐震改修工事を行った家屋数と除却した家屋数を除いた令和5年度末には、全体で77.6%と推定されている。今後、啓発活動などを実施していく。

問 米飯給食を増やす考えは。

答 アンケート調査を行った結果、令和4・5年度と

もに「今のままが良い」が最多であった。今後も、児童・生徒の声を聞きながら、栄養バランスのとれた給食を提供していく。

問 指定管理の見直しは。

答 市民サービスの向上を第一に考え、ゼロベースで総合的に検証、見直しを行い、

質の高いサービスが提供できるよう努める。

問 地域おこし協力隊の新しい部署からの要望は。

答 ニーズを聞き取り、地域の担い手となる人材の確保につなげていきたい。

問 地震発生時の本市の対応は。

答 自らの安全確保に十分配慮したうえで、あらかじめ定められた配備体制に基づき、所定の業務に従事することとしており、災害対応業務を的確に行えるよう、業務継続や受援体制の準備も併せて行う。

問 ふるさと納税について次年度に向けた取り組みは。

答 特産品や観光PRと合わせて、本市へのふるさと納税をPRするなど、積極的に県内外でのPR活動を実施し、引き続き提案募集や情報収集に努め、ふるさと納税を通じた地場産業の育成に取り組んでいく。



枝澤 幹太
えだざわ けんた
薫風会

問

新ごみ処理施設整備事業に
過疎対策事業債を活用できないのか

答

過疎地域外に設置する合理的な理由が
ある施設は対象となる

問

新ごみ処理施設整備事業
について、令和6年度予
算案では、令和7年度の稼働開
始に向けて建設工事がピークを
迎えるため関係事業費が約40億
円超となっている。

令和6年度の新しいごみ処理施設
整備事業の事業費は非常に大き
く、当初予算の約17%にもあた
ることから、財源をどのように
予定しているのか。

また、この処理施設の建設地
は鴨島町にあるが、過疎地域に
指定されている山川町および美
郷のごみについても焼却するこ
とから、市債の一部に過疎対策
事業債を活用できないのか。

答

令和6年度の新しいごみ処
理施設整備事業費40億
9585万4000円の財源内
訳は国の循環型社会形成推進交
付金、10億8832万2000
円、環境施設整備基金繰入金
4億8500万円、市債25億1
530万円、一般財源723万

2000円を見込んでいる。

令和6年度予算案では、市債
に一般廃棄物処理施設を整備す
る場合に活用できる一般廃棄物
処理事業債を予定している。

過疎対策事業債の対象となる
施設は、原則として過疎地域内
に整備されるものが対象となる
が、過疎地域外に整備する施設
であっても、当該地域の住民の
利用に供されるものであって、
過疎地域外に設置する合理的な
理由がある施設は対象となつて
いる。

また、新しいごみ処理施設につい
ても、過疎地域内の受益分を人
口で按分して対象事業費を算出
することにより、過疎対策事業
債の活用が可能となる場合があ
る。過疎対策事業債は一般廃棄
物処理事業債よりも充当率、交
付税措置率がともに高く、活用
できれば実質的な市の負担額が
軽減されるため、活用できるよ
う調査研究を進める。

【その他の質問】

問

市制20周年記念事業に
「NHKのご自慢」が開
催されるが、その概要と市民へ
の周知方法は。

答

令和7年2月9日に、日
本フネン市民プラザで行
うことが決定した。本年11月も
しくは12月頃に広報誌および市
ホームページのほか、NHK専
用サイトで出場者などの募集を
案内する予定である。

問

観光施策の現状と今後の
取り組みは。

答

各実行委員会が主催する
観光関係イベントへの補
助を中心に、一般社団法人イー
ストとくしま観光推進機構によ
る県東部地域で一体となった観
光誘客の施策を推進している。
観光ビジョンの必要性等につ
いても意見をいただき、官民一
体となる観光振興となるよう、
連携して取り組んでいく。

問

防災訓練の結果と課題
は。

答

職員を対象とした参集訓
練、避難所関連訓練など
を所定のメニューでトラブルな
く実施できた。

課題は参集の連絡手段である
一斉送信メールでの運用の工
夫、または改善が必要であり、
庁舎の非常用発電設備も機能強
化が必要である。今後課題解決
に向け取り組みを進める。



日本フネン市民プラザで行われた避難所関連訓練



きくかわ みつ のり
菊川 充憲

答

さまざまな取り組みをして残食が減るよう努める

問

学校給食での残食の現状と対策は

問 環境省が学校給食の残食について全国の市町村にアンケートを実施した結果、年間1人あたり、給食の食品廃棄物発生量が17.2kgであった。市における学校給食での残食の現状と対策は。

また、アレルギー対策の現状は。

答 本市では、令和4年度の食品廃棄物発生量は、年間1人あたり17.7kgで、全国調査と比較して0.5kg多い現状である。

献立作成は、学校給食実施基準の年齢別に応じた摂取基準に沿いながら、食べ残しの多い献立を検証するとともに、嗜好が偏らず、幅広い栄養素を取り入れバランスがよくなる工夫をしている。また、栄養教諭が給食時間に向いて、当日の食材や献立についての話をし、児童生徒とコミュニケーションをとるなど、さまざまな取り組みにより、食べ残しが減っている傾向がある。

食べ物を無駄なく大切に消費する子どもの育成に努め、調理方法や味付けなどの検討に加え、献立で主食、副食の組み合わせも工夫し、食べ残しが減るよう努める。

アレルギー対策としては、学校生活管理指導表を基に、保護者と栄養

教諭等が面談し個々の状態把握と情報共有に努め、状態に応じた除去食、代替食を提供している。

【その他の質問】

問 消防団の大規模災害団員制度を導入する考えは。

答 市内各地区において新入団員の確保に苦慮している状況があり、大規模災害団員制度の導入なども視野に入れながら、まずは、女性の機別団員の拡充に向けて取り組んでいきたい。

問 運転経歴証明書保持者へのサービスマンと運転免許自主返納者優

遇店ガイドブックの配布状況は。

答 対象となる75歳以上の方に高齢者等外出支援タクシー料金助成事業を実施し、令和6年度から過疎地域に追加購入制度を導入する。県が作成したガイドブックは、窓口で配布しており、市のホームページで内容を検索できるサイトの紹介も周知している。



しお た とも こ
塩田 智子

答

「農業、林業、商業の一大祭典」となるよう産産を盛り上げていく

問

農林業まつりの事業効果と将来的な展望は

問 「農林業まつり」は、6月に開催する既存の美郷ほたるまつりや五九郎まつりとともに、市制20周年記念事業のトップをきって6月16日に開催を予定している。

新たなイベントとして開催する農林業まつりの計画内容と開催規模は。また、想定される事業効果と将来的な展望は。

答 農林業まつりは、担い手不足や木材価格低迷等が深刻な課題となる農林業を盛り上げ、多くの方に興味や関心を持っていただく機会となるよう、市制20周年を契機に農業協同組合、森林組合と連携し、開催を予定する本市初の農林業一大イベントである。

主な内容は、農業分野で「甘々娘の収穫体験」「テコ巻き寿司体験」「スマート農業のデモンストラーション」など。林業部門で、普段見ることができない「大型高性能林業機械の展示・実演」「親子木工教室」「VR伐採体験」など。

その他にも、「すだち大使PRブース」や「各種販売ブース」高校生による「ステージイベント」など、子どもから大人まで楽しめるイベント開催を計画している。

開催規模は、既存イベントのスイートコーン祭りが例年1日あたり約1200人、吉野川マルシェが平均2500人であるため、少なくともそれ以上の開催規模を想定し諸準備を進める。

イベント当日は、本市の農林業を積極的にPRするとともに、農林業まつりが将来的に本市を代表する「農業、林業、商業の一大祭典」に発展するよう、今後も関係機関等と連携し、本市の産産を盛り上げていく。

【その他の質問】

問 こども食堂運営費補助事業で、今後期待する展開は。

答 吉野川市こども家庭センターと連携して、支援の必要な子どもや家庭の早期発見にもつながるものと期待する。

問 ちびっこプラザに市外の未就学児を受け入れる考えは。

答 市外の方も利用できる曜日や時間帯等を設けることが可能か検討を進める。



なかにし わたる
中西 渉

問

保育所・認定こども園における保育料、給食費の無償化について

保育料は段階的に無償化し、給食費は本年9月から完全無償化となる

問 市長の公約にも掲げられている、保育所・認定こども園の保育料と給食費の無償化について、今後どのように進めていくのか。また、県内自治体の状況は。

答 令和6年9月から2歳児の保育料無償化を予定している。その後、令和7年度に1歳児、令和8年度には0歳児も無償化となり、3年をかけて1年ごとに段階的に無償化となるよう進めていきたい。

県内自治体の保育料の状況については、無償化としている自治体でも認可外施設や市外の保育施設に通園する未就学児は対象外であるなど、制度もさまざまである。

本市においては、市に住民登録があり、市の保育認定を受けていれば、認可外施設や市外の保育施設に通園する場合も、完全無償化となるよう進めている。

給食費についても、多くの自治体が国の制度等に基づく副食費の補助を行っているが、第2子以降全額補助など、自治体によってさまざまである。

本市は令和6年9月から、主食費・

副食費を含めた給食費が完全無償化となるよう進めている。

【その他の質問】

問

災害時の避難所における女性特有のニーズへの備蓄の現状は。また、避難所運営には女性の視点が不可欠であると思うが女性リーダーの養成は。

答 生理用品や下着などの女性用品を備蓄しているが、種類や数量が不十分なところもあるため、今後拡充を図る。

また、女性の防災リーダー育成とともに、さまざまな防災活動への女性の参画を進めていく。

問 吉野川市阿波踊り大会の本年の開催予定は。

答 昨年と同様、地元の若手経営者有志の方が主体となつて開催する方向である。

日程等の詳細は、決まり次第、広報誌やホームページ等で周知する。



あさかつひこ
阿佐 勝彦

問

市職員の接遇マニュアルを現状に見合った内容に改訂しては

改訂に向け速やかに取り組む

問 平成20年6月に策定した吉野川市役所接遇マニュアル「おもてなしの心」は、現在の社会情勢にはそぐわない点が多々ある。

近年のハラスメントは多岐にわたり、通話記録もなくトラブルになると職員には厳しいため、働きやすい後ろ盾も必要ではないかと思う。

社会情勢の変化にも対応している、新たな接遇マニュアルとして内容を改訂してはどうか。

答 現在のマニュアルは、四国遍路における「お接待」の「おもてなしの心」から市職員の接遇においても、市民の方の気持ちになつて対応することで信頼関係も確立できるとの考えのもと、基本的な事柄を整理し、これまで職員研修などで活用してきた。

しかし、策定後15年が経過し、社会情勢も変化しているため、策定当時に想定していなかったカスタマーハラスメント対策など、現在の状況にそぐわない部分もある。

今後は、現行のマニュアルを踏襲しつつ、職員を守るといった観点からも、電話や窓口でのカスタマーハラ

スメント対策や不当要求行為などの暴力対策も含めたマニュアルの改訂に速やかに取り組む。

また、住民サービスの更なる意識向上に向けた、本市職員の意識改革に取り組んでいく。

【その他の質問】

問 飼い主がいなくなった猫に対して、餌やり、捕獲、里親探し、去勢・避妊手術などを行っている団体があるが、市としての支援は。

答 本市では、多頭飼育者に対する情報提供、屋内での飼育の勧め、捨て猫に対しては、譲渡会等を活用し飼い主を見つかるお手伝いをしていく。今後、県動物愛護センターや保護団体との連携を深め、「子どもたちへの命の授業」についても検討課題として取り組んでいきたい。

問 川島町の浄水場から基幹配水池までの送水管の耐震化について改善が必要では。

答 災害時、応急給水に必要な水道水を確保するため、未更新送水管について、新しい耐震管への布設替え工事を計画していく。



岸田 益雄

答

問

自主防災組織などの防災活動に参画できる仕組みづくりを検討する

地域防災の担い手である防災士との連携は

問 能登半島地震から2カ月が経っても上下水道が復旧せず、その要因に水道管の耐震化の遅れが指摘されている。本市の上下水道管施設の耐震化の現状と対策は。

答 また、民間資格である防災士は地域防災の担い手として、平時には防災啓発活動を、災害発生時には避難誘導や救助活動にあたることが期待されている。

問 防災意識が高まる中、本市の現状と防災士との連携は。

答 本市の上下水道地域の基幹管路は30.7%が耐震適合性のある管路である。今後、大地震が発生した場合、震災後10日までに生活に最小限必要な水道水を提供すること、また28日までに、ほぼ通常の生活水量を提供することを目標に、管路の耐震化を進めていく。

下水道については令和4年度に、新たに追加された避難所施設等への対象路線を加えた新しい総合地震対策計画を策定し、令和6年度以降、耐震化が必要な路線は詳細設計および対策工事を行っていく予定としている。また、市内公共下水道のうち

耐震対策路線の耐震化率は77.5%であり、今後も生活基盤である上下水道施設の耐震化を順次進めていく。

防災士については、現在市内で275名が資格を取得している。

平時における自主防災組織等での地域防災活動に、防災士が参画できる仕組みづくりを検討する。

【その他の質問】

問 本年度で閉所となる鴨島呉郷保育所施設の今後の利活用は。

答 「NPO法人こどもの発達研究所きりん」に利用いただく予定である。

問 市制20周年記念事業の巡回ラジオ体操の詳細と、吉野川市史「偉人編」の編集内容は。

答 ラジオ体操は9月29日に鴨島第一中学校運動場で実施する。市史偉人編は文化人に加え産業や教育に貢献された方も掲載予定である。

問 阿波吉野川警察署庁舎整備の基本構想への要望は。

答 一日も早く本市に整備されるよう、県警本部に働きかける。



岡田 光男

答

問

迅速な復旧復興のもと重点化する施策を選定し推進している

被災後も希望を持って暮らすには事前復興計画が必要ではないか

問 各地での地震災害の教訓から、被災後も希望を持って住み慣れた地域で暮らすには、事前復興計画が必要と考えるが、災害ごみの処理計画はどうなっているのか。

答 また、災害関連死を防ぐために着圧ストッキングを備蓄品に加えては、災害時にお手伝いをしたいという職員OBの方もいるが、登録制度を創設できないか。

問 本市は、事前復興に特化した計画は策定していないが、国土強靱化地域計画では基本目標として「迅速な復旧復興」を掲げており、重点化する施策を選定し推進している。速やかに復旧・復興を進めるために「吉野川市災害廃棄物処理計画」を策定しており、発生する災害廃棄物に対応する体制を整えている。

答 着圧ストッキングについては、今後備蓄するにあたり、期待する効果など調査研究したい。

災害支援時の職員OB活用制度については、初動体制を強化するためにも有効であることから、早期に制度を創設できるように努めたい。

【その他の質問】

問 耐震改修事業と住まいのストック化支援事業の現状は。

答 令和2年度から開始し、毎年5件程度を実施し、令和5年度末で累計19件の実績となっている。

問 下水道経営において今後の方針は。

答 令和5年度から2カ年かけて吉野川市下水道経営戦略の見直しを行い、健全な経営を目指す。

問 最終処分場の現状と今後は。

答 十分余裕を持った状態の運用であり、可能な限り施設の有効利用を図りたい。



最終処分場



ちか ひさ 近久 ひろし 寛

答

問

現在の健康増進施策は

ライフサイクルに合わせた健康づくりの取り組みを実施する

問 市民の健康増進に向けて、有効な取り組みを進めるため現在の健康状態把握方法や健康増進施策は。また、今後の取り組みは。

答 妊婦健診、乳幼児検診を実施し、20歳から39歳の若年期にはヤング検診を勧め、40歳から74歳の国保加入者には、特定健診を実施している。

受診後は個別の特定保健指導に加え、糖尿病・慢性腎臓病などの方にも保健指導を実施し、健康状態の把握を行っている。後期高齢者に対しても、特定健診結果から継続した支援を行い、健康状態の把握に努めている。

出産期から老年期までライフサイクルに合わせた健康づくりの取り組みを実施しており、令和3年度からは高齢者の「保険事業と介護予防等の一体的な実施」を開始し、生活習慣病重症化予防や、能力や認知機能など心身の活力が低下した状態となるフレイル予防に努めている。

本年度策定する「健康よしのがわ21第3次計画」の中で、個人の行動と健康状態の改善、生活習慣病の発

症予防など、課題別の対策および取り組みとして計画を推進し市民の健康増進を目指した取り組みを進める。

問 令和4年から、本市の死亡者数が増加しているが、市民の健康を守るべき行政機関としてどう捉えるか。

答 死因の特定は困難であるが、保健所との連携、国が公表する人口動態統計などを活用しながら、死因別の死亡動向を注視する。

健診受診率の向上を目指し、取り組みを強化するとともに、健康寿命の延伸に向けた各種の取り組みも強化したい。

【その他の質問】

問 安心・安全な農産物を生産するための持続可能な農業の確立に向けた取り組みについて。

答 国の交付金の活用を推進し、環境負荷低減につながる農業等の推進や、新設した6次産業加工施設整備補助事業など、さまざまな角度からアプローチし、持続可能な農業の確立に向け、本市の状況に見合った取り組みを行っていく。



議長・副議長の役割



議長と副議長は、市議会議員の中から一人ずつ、議会における選挙で選ばれます。議長は、議場の秩序を守る、会議の進行を管理する、議会の事務を取りまとめるなど、円滑な議会運営のための仕事をしています。また、議会の代表として式典やさまざまな会議への出席、市議会外部との話し合いも行います。

副議長は、議長が病気・出張などで不在のときに、議長に代わって議長の職務を行います。

議長は議決に加わりません

議長は議決に加わる権利がありませんが、可否同数となった場合にその議案の可決・否決を決める採決権が認められています。

中学生が

本会議を傍聴

3月4日、鴨島東中学校の1年生22名が、授業の一環として市議会の一般質問を傍聴しました。

事前に議会について学習してから傍聴に臨んだ生徒たちは、真剣なまなざしで議員と理事者のやりとりを見ていました。傍聴後には、委員会室なども見学し、一番身近な政治に触れ、関心を深めていただく機会となりました。



傍聴席から傍聴しました

議会のうつき (12月～2月)

12/21	阿南市議会正・副議長来庁
26	徳島中央広域連合議会定例会
1/12	議会広報特別委員会
15	鳴門市議会正・副議長来庁
23	徳島県市議会議員研修会
25	D X推進特別委員会行政視察 (別府市・西予市／～26日)
2/5	第38回徳島県市町村トップセミナー
6	全国市議会議長会産業経済委員会正副委員長会議
19	全国市議会議長会産業経済委員会第179回委員会 議会運営委員会



議員ハラスメント研修

3月18日、議員ハラスメント研修を実施しました。

この研修では、ハラスメントを起さない意識を議員間で共有することを目的とし、ハラスメントの生じる原因や予防のポイントを確認しました。パワハラ、セクハラをはじめとした、ハラスメント全般に対する認識を新たにすることができました。



ハラスメントについて再確認しました

旬感 よしのがわ

吉野川市は、本年市制20周年を迎えます。平成16年10月1日、麻植郡の4町村(鴨島町、川島町、山川町、美郷村)が合併して吉野川市が誕生しました。

市制20周年を記念して、さまざまなイベントや記念事業などが企画されています。

この20年間を思い出しながら、また、合併時には生まれていなかった方は、またの歴史を学びながら、参加されてみてはいかがでしょうか。

あなたは20年前、何をしていましたか。これから先、何をしていきますか。この20年を振り返り、そして今後の吉野川市を市民みんなで輝かせていきましょう。

夢を紡いで20年
羽ばたけ未来へ
吉野川



□に当てはまる言葉は何でしょう。

クイズ



？ 物産館(みさと屋)
ひらがなも可

美郷の特産品や田舎団子、新鮮野菜や季節限定商品が並ぶ物産コーナーがあり、お食事もできます。四季折々の豊かな自然の恵みを楽しみながらのんびり・ゆったりした時間をお過ごしください。

● 正解者の中から抽選で10名様に吉野川市の特産品を進呈します。(議会事務局まで受け取りにお越しください。)

● 応募方法 はがき、またはFAXにクイズの答えと郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を(記入の上、吉野川市議会事務局までお送りください。)

● 応募先 「チョットひと言」添えてみませんか。
〒776-8611 吉野川市議会事務局
TEL(0883)2212241
FAX(0883)2212242

● 締切日 令和6年6月28日(消印有効)

チョットひと言

- ★子どもが幼い頃、毎日のように上桜公園へ行き大正池の白鳥を見たり遊具で楽しんだことを思い出します。(原さま)
- ★川島高校生時代、期末テストが終わると友人4〜5人で池へ行き青春を謳歌したものです。(近藤さま)

(前回の解答)

「大正」

あとがき



今春闘の平均賃上げ率が、5.28%と33年ぶりの高水準になりました。これを受けてマイナス金利政策が解除へ向かうとされています。しかし、この5.28%という数字は、連合傘下の大企業771組合(3月15日午前10時時点)の平均に過ぎず、さらに、そもそも労働組合加入率は16.5%しかありません。本市の多くの市民には、おそらく5.28%はあまり現実味のない数字でしょう。内部留保511兆円の大企業およびその社員と、それ以外の国民間の格差は広がるばかりです。

多少給料があがるうともこの物価高に厳しい暮らしを強いられる方は多く、その上住宅ローンの金利が上がったりすればなお大変。市民の痛みをしっかりと受け止めながら、代議としての務めを果たしていかねばならないと改めて心に期しています。

そして、国民の痛みそつちのけで、国政は采れた体たらくです。出てくる出てくる、お粗末であまじい所業。いつから日本の政治はここまで劣化してしまっただのかと悲しくなります。このうちは、地方から市民のための政治を毅然として実践していくしかない、襟を正しているこの頃です。

さて3月議会、予算が審議され、段階的に0.1:2歳児の保育料の無償化などの予算が無事通過しました。市議会は市民生活に直結した事柄を審議していただきますので、ぜひ奮って傍聴に来てください。頑張って問題提起する際には応援してください。できれば力強い声、議会がサポートしていないか監視していただくという意味もあります。市民の市議会です。ぜひお気軽にお運びください！ 待っています！

田村 修司

【編集委員】
委員長 岡田 光男
副委員長 近久 寛
委員 中西 涉
河野 利英
田村 修司
北川 麦

発行/吉野川市議会 編集/議会広報特別委員会
〒776-8611 徳島県吉野川市鴨島町鴨島115番地1
TEL 0883-22-2241 FAX 0883-22-2242
議会だよりは再生紙を使用しています